

登録コード	MA004800	開講年度	2026			
授業科目名	遺伝カウンセリング				担当教員	古庄 知己
英文授業名	Genetic Counseling				副担当	高野 亨子・中村 勝哉
単位数	3	講義期間	不定期	曜日・時限	・不定期	対象専攻／学年
講義室				授業形態		授業科目区分
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄					
	MS26カリ(医科学)・医科, MS25カリ(医科学)・医科, MS24カリ(医科学)・医科, MS23カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				⇄	遺伝カウンセリングの基礎知識を習得し、実践できる。
(2)授業の概要	・医学科4年「遺伝医療・ゲノム医療」への参加 ・遺伝子医療研究センターにおける定例症例検討会への参加 ・症例提示 ・CGC勉強会					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	・ 遺伝性・先天性疾患の知識、遺伝カウンセリングの進め方の基礎・実戦を学武。・					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	・ 医学科4年「遺伝医療・ゲノム医療」への参加を通じて、遺伝性・先天性疾患の知識を習得する。 ・ 附属病院遺伝子医療研究センターにおける定例症例検討会への参加を通じて、実際の遺伝カウンセリングの進め方を学ぶ。 ・ 症例提示、CGC勉強会への参加を通じて、遺伝カウンセリングにおける認定遺伝カウンセラーの取り組み方を身につける。					
(5)授業計画	・ 医学科4年「遺伝医療・ゲノム医療」への参加（講義：1時間x10） ・ 遺伝子医療研究センターにおける定例症例検討会への参加（演習：1時間x30回） ・ 症例提示（演習：3時間[事前事後学習含む]x5回） ・ CGC勉強会（家系図作成、インテイクなど）への参加（演習：3時間[事前事後学習含む]x5回）					
(6)授業の進め方	講義、演習					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	担当教員（認定遺伝カウンセラー・小島朋美氏、黄瀬恵美子氏、佐久彰子氏、仲間つき氏も担当）より指示					
(8)成績評価の方法	・ レポート：可以上 ・ 症例プレゼンテーション：可以上					
(9)成績評価の基準	レポート、症例プレゼンテーション：(i) 問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している(秀)」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある(優)」。4項目までできていれば「やや上にある(良)」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	古庄 知己 他 遺伝医学教室（内線5207）					
【テキスト，教材，参考書】	【教科書】 ・ 遺伝カウンセリング標準テキスト、認定遺伝カウンセラー制度委員会監修、診断と治療社 【参考書】 ・ 遺伝カウンセリングマニュアル、福岡義光監修、櫻井晃洋編集、南江堂 ・ コアカリ準拠 臨床遺伝学テキストノート、日本人類遺伝学会編集、診断と治療社 ・ 臨床遺伝専門医テキスト1 臨床遺伝学総論、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 ・ 臨床遺伝専門医テキスト2 各論I 臨床遺伝学学生殖・周産期領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 ・ 臨床遺伝専門医テキスト3 各論II 臨床遺伝学小児領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 ・ 臨床遺伝専門医テキスト4 各論III 臨床遺伝学成人領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 ・ 臨床遺伝専門医テキスト5 各論IV 臨床遺伝学腫瘍領域、臨床遺伝専門医制度委員会監修、診断と治療社 有用なサイト GeneReviews(https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK1116/) GeneReviews Japan(http://grj.umin.jp)					